

# 湯とりの人とき

## 遠くの温泉より、近場の銭湯 美唄お風呂事情

美唄は殆んど、一都市一郡歯会といっても差し支えない稀有なる立場上、お風呂屋さんも地域に限定して限られる。反面どこにも自在、空知全域を股にかけている愛好者が多い。実際、いやしの場としての銭湯の価値はますます高まり、空知管内の温泉や銭湯、今日はこちら、明日はあちらと選べる楽しみがある。しかし、遠くのいかなる有名な温泉も、歩いてすぐ行ってくつろげる銭湯に必ず勝るといふ訳でもない。江戸評論家杉浦日向子女史のように、日の高いうちにタオル一本持ち、お風呂につかったあと、ソバをサカナに

一杯という洒落た楽しみ方は、歩いていけなければ不可能。もっとも、おおむね朝早くから日が暮れるまで診察に拘束されている身にとって考えるだけおぞましい。

三井・三菱の炭鉱華やかなりし頃は、炭鉱直属のほかには10軒ほどあった銭湯も今では2軒となってしまった。(滝の湯・柳湯・栄湯・三和湯・旭湯・美唄湯・常盤湯・美唄市東明閣、そして現存する菊の湯といなほサウナ) 東明公園に隣接した宿泊可能な東明閣は閉鎖され、2年後に期待されて新しい温泉として皆さんにご紹介できましょう。

### 菊の湯

ミストサウナ(蒸気または湿式サウナ)と水風呂。平均より熱めの湯。気さくなあるじ夫婦。週に一度は、別時間帯に市のティサービスの場としても活用されている。開始は2時半、夜10時半まで。土曜休日の370円の銭湯料金。

筆者は札幌の大規模サウナや種々のこだわり銭湯にもよく行くが、大きいからいいという単純な訳でもなく、値段だけが高く、汗の出が今ひとつということが多い。ここのミストサウナは、その性質上どこから汗なのか、判然としないが、体には余り負担がかからず、その後のもっきりの発泡酒と共に安眠を約束する。(右写真)

美唄市大通南1 電話 01266-3-3276



### いなほアルファイオン健康センター

通常の乾式サウナと水風呂そしてアルファイオン、ラドン湯を併せ持つ。床暖房の休憩室で横になると、その心地良さに知らない間に涎を垂らしながら眠ってしまう。まさに至福のひとつときであり、さながら清朝末期阿片を吸引し横たわる廃人のよう。壁の材質のゆえか、湿度の加減か、サウナは結構汗が出る。昼12時から夜12時まで営業。秋に4~5日と正月1~2日のみ休む。1回620円。

美唄市西2北6 電話 01266-3-3917

(小森英世記)

